

5. RD社の産業廃棄物処分業許可等の経過

年月日	最終処分業	最終処分施設	中間処理業	中間処理施設
S54. 12. 26	佐野正(個人)で新規許可 安定型埋立：がれき類			
S55. 3. 1		設置届受理 (届出者：佐野正) 面積：9,781㎡ 容量：60,242m3		
S57. 7. 13		廃止届受理 (届出者：佐野正)		
	佐野産業㈱で新規許可 安定型埋立： 廃プラスチック類、ゴムくず、 ガラスくず及び 陶磁器くず、がれき類	設置届受理 (届出者：佐野産業㈱) 面積：9,781㎡ 容量：30,712m3		
S59. 10. 30			変更許可 破碎：ガラスくず及び 陶磁器くず、がれき類	
S60. 6. 7		変更届受理 面積：23,386㎡ 容量：183,150m3		
S61. 12. 5			変更許可 焼却：木くず	
H 1. 8. 10	株式会社アール・ディエンジニアリングに社名変更			
H 1. 12. 6	廃棄物処理法改正に伴い、産業廃棄物処分業許可			
	安定型埋立： 廃プラスチック類、 ゴムくず、ガラスくず及び 陶磁器くず、がれき類		破碎：ガラスくず及び 陶磁器くず、がれき類 焼却：汚泥、廃油、 廃プラスチック類、木くず、 紙くず、繊維くず、 動植物性残さ、 ゴムくず、がれき類	
H 2. 10. 5			変更許可 焼却：金属くず (医療系に限る) ガラスくず 及び陶磁器くず	
H 3. 9. 7			変更許可 焼却：廃酸、廃アルカリ 乾燥：汚泥	焼却施設設置届受理 廃プラスチック類 汚泥 廃油 汚泥乾燥施設設置届受理
H 5. 6. 28			特別管理産業廃棄物処分 業新規許可 焼却：汚泥、廃油、廃酸、 廃アルカリ、感染性廃棄物	

年月日	最終処分業	最終処分施設	中間処理業	中間処理施設
H 6. 9. 29		第2処分場 設置許可 面積：8,652㎡ 容量：59,550m3		
H 7. 4. 27		第2処分場使用前検査 完了		
H 7. 10. 31			変更届受理（施設変更） 木くずの焼却炉	
H 8. 9. 7	産業廃棄物処分業 の更新許可			
H10. 5. 27	廃止届受理			
H10. 6. 2		最終処分場に係る施設 の改善命令		
H10. 6. 28			特別管理産業廃棄物処分業 の更新許可	
H10. 7. 3		最終処分場施設変更許可 第1 面積：35,384㎡ 容量：292,943m3 第2 面積：9,276㎡ 容量：122,437m3		焼却施設（ガス化溶融炉）、 汚泥乾燥施設の設置許可
H11. 11. 25				焼却施設休止届受理 廃プラスチック類 汚泥 廃油 汚泥乾燥施設休止届受理
H13. 2. 7				焼却施設（ガス化溶融炉） 廃止届受理
H13. 9. 7			産業廃棄物処分業更新 許可（破碎のみ）	
H13. 9. 25			産業廃棄物処理業、 特別管理産業廃棄物 処理業の全部停止 (10月25日～11月23日)	
H13. 12. 26		最終処分場に係る施設 の改善命令		
H15. 11. 10		最終処分場に係る施設 の軽微変更 第1 面積：38,429.46㎡ 容量：320,529 m3 第2 面積：10,111.47㎡ 容量：80,659 m3		
H18. 3. 31			中間処理業の全部の廃止届 受理	

## R D 最終処分場の既存焼却炉について

### 1. 南側焼却炉 (キンセイ産業GB-3000W)

平成元年1月17日 産業廃棄物処分量の許可を取得

- 許可内容 (当該焼却炉にかかる中間処理 (焼却) により取得した内容のみ)  
品目: 無害汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、  
動植物性残さ、ゴムくず、がれき類、(ガラス陶磁器くず)  
能力: 4.8 t/日 (木くずが主)
- 燃焼方法 乾溜ガス化燃焼方式  
2基の乾溜炉で 80℃～260℃までガス化を推進しながら燃焼させ、  
気化された燃焼ガスを2次炉 (バーナー炉) で完全燃焼させる構造。

#### 最終許可状況 事業範囲変更許可

その後、数回の変更許可により処理品目および能力を変更した。

平成3年9月7日付けの変更許可では、油泥および汚泥の乾燥・焼却を目的とし、  
焼却炉からの燃焼ガスを利用したロータリーキルンを増設している。

(また、このころより24時間操業体制に伴う処理能力の増も見受けられる)

#### 許可内容

##### ① 普通産廃

###### (焼却)

品目: 有機性汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、  
繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス陶磁器くず、  
がれき類

能力: 木くず 14.4 t/日、汚泥 8.1m<sup>3</sup>/日、廃油 6.0m<sup>3</sup>/日、  
廃酸 1.0m<sup>3</sup>/日、廃アルカリ 1.0m<sup>3</sup>/日、廃プラスチック類 9.0 t/日、  
その他の廃棄物 0.144 t/日

###### (乾燥)

品目: 無機性汚泥

能力: 20.8m<sup>3</sup>/日、10.0m<sup>3</sup>/日

##### ② 特管産廃

###### (焼却)

品目: 汚泥 (トリクロエチレン及びテトラクロエチレンを含むもの)、廃油、  
廃酸 (pH2.0以下)、廃アルカリ (pH12.5以上)、感染性廃棄物

能力: 汚泥 8.1m<sup>3</sup>/日、廃油 6.0m<sup>3</sup>/日、廃酸 1.0m<sup>3</sup>/日、  
廃アルカリ 1.0m<sup>3</sup>/日、感染性廃棄物 14.4 t/日、

## 2. 東側焼却炉（㈱拓洋技研 TAK-5000）

平成7年10月31日 産業廃棄物処理業変更届受理

（昭和61年12月5日付けで（佐野産業名で）処分業（事業範囲変更）許可を受けた木くずの焼却炉（能力：2.5 t／日、中島鉄工所焼却炉NW－II）の処理能力の低下のため設置）

- ・ 許可内容（当該焼却炉にかかる内容のみ）  
品 目：木くず  
能 力：4.8 t／日
- ・ 燃焼方式 乾溜式焼却炉（炉内堆積ガス化燃焼方式）。

平成14年11月15日 焼却施設の廃止